

テロ事件に巻き込まれないための基本予防策と対処法

テロ事件は予測するのが難しい……

でも、普段からの心掛けと対処で被害を最小限に抑えることができます！



予防策

テロ事件の発生を予測することは難しく、防ぎようがないと思われるかもしれませんが、しかし、テロ事件の発生場所、時間帯などには「傾向」があります。それを知るだけでも、事件に巻き込まれる可能性を下げることができます。また、運悪く巻き込まれても、行動の仕方によっては被害を最小限に抑えることができます。

基本！

危険な国・場所・時間帯を避ける

用心を怠らない 目立たない
(直接の標的とならないために)

周囲の不審者・不審物に注意を払う
(大きな荷物、不自然な厚着等)

万が一に備える
旅行中の連絡先や日程を家族等に伝える

対処法

万が一爆弾事件に遭遇してしまっても、パニックにおちいらず、被害をより小さく食い止めるよう努めることが重要です。爆発の規模、発生場所等によりその対応は様々ですが、大事な点は以下のとおりです。爆発事件に遭遇した場合は、必ず現地の日本国大使館又は総領事館に連絡することもお忘れなく。

もし…

爆発音を聞いたら…
その場に伏せる
机など頑丈な場所の下にもぐり込む

事件現場に居合わせたら…
事件現場に近寄らない
(二次的被害を被る可能性があります)
周りに注意しつつ事件現場から避難する

建物等の下敷きになったら…
体力の温存を心掛ける
有害物質を吸い込まない
パイプなどを叩き居場所を伝える

事件に遭遇したら…
大使館・総領事館に連絡する

海外旅行のテロ・誘拐対策

3つのポイント



危険な国・場所に近づかない

テロ・誘拐・武力衝突の多発する地域には決して旅行しないでください。また、一国の中でもテロの対象となる可能性の高い地域や施設があります。「海外安全ホームページ」(<http://www.mofa.go.jp/anzen>)で渡航先の最新の治安情勢を確認しましょう。

爆弾テロにも予防策あり

観光地でも爆弾テロが発生しています。渡航先の治安情勢とるべき安全対策をしっかりとチェックしてください。

身近に迫る誘拐の脅威

現地の人に誘われるままについて行って拘束され、金品を巻き上げられるケースや、空港で乗ったタクシーでそのまま誘拐されるケースもあります。警戒心を絶やさずに！

はじめに テロや誘拐事件は世界各地で増加しています。近年、公共交通機関やホテルなど、一般旅行者も利用する

施設で爆弾テロが発生する例が増えていきます。また、これまでにテロがなかった国でも発生しています。しかし、各国の事情を踏まえ、以下の点に注意することによりテロの被害に遭う危険性を下げることができます。

外国関連施設・宗教施設



- 国によっては外国関連施設がテロの標的になっています。
- 国によっては宗教関連施設で爆弾事件が発生しています。

例) アジア・アフリカ・中東での外国大使館・外国系銀行を狙った爆発事件
アジア・中東の宗教施設での爆発事件

公共交通機関



- 国・地域の治安事情にあわせて交通手段を選ぶ。
- 周囲の状況に注意し、不審な人物・物がないかを確認する。

例) 欧州の地下鉄・バス・航空機での自爆テロ
アジアのバスターミナルでの爆発事件
アジアの空港での警備強化

誘拐事件

リゾート地・ホテル



- 十分な安全対策をとっているホテルを選ぶ。
- ホテルの入り口、フロントなど、いろいろな人が簡単に立ち入ることができる場所にいる時間をできるだけ短くする。

例) 中東・アジアの首都・リゾートのホテル前での自爆テロ

市場・繁華街・観光スポット



- 人混みや外国人が多く集まる場所にはできる限り近づかない。
- ガラスを多く使用した建造物の周辺は通行しない。
- 夜間、特に深夜の外出は控える。

例) 中東・アジア等の市場・繁華街での爆発事件

爆弾テロ事件

観光地・リゾート地



- 目立つ服装・行動を慎む。
- 見知らぬ人物には決してついていかない。
- 空港の到着ロビーなどで、日本語を巧みに使い近づいてくる人には十分に注意する。
- あやしいタクシー(白タク等)には乗らない。

例) 夜間中南米の空港で到着客をタクシーにより誘拐
アジアで観光客を、いかさま賭博に誘い込み、その後身柄を拘束
リゾートアイランドでの高速艇による誘拐

海外旅行前にはまず情報収集を!

「外務省海外安全ホームページ」
<http://www.mofa.go.jp/anzen>

海外旅行を楽しむためには、十分な情報収集と安全対策が欠かせません。外務省の「海外安全ホームページ」には、テロ・誘拐事件の傾向、危険地域、テロや誘拐対策パンフレットなど、旅行ガイドブックにはない重要な情報が掲載されています。

「海外安全ホームページ」活用のポイント!

「渡航情報」をチェック!

国別に設けてある「渡航情報」の中で、特に注意が必要な国・地域については「危険情報」、「スポット情報」、「広域情報」等を出しています。

「危険情報」を目安に旅行のプランニング

危険な国・地域に行かないことがテロ事件などの被害に遭わないための一番の予防策です。

※「退避勧告」・「渡航の延期をおすすめします。」が発出されている地域(例:イラク、アフガニスタン等)には絶対に渡航しないでください。

※「渡航の是非を検討してください。」地域はテロの脅威が特に高く、渡航は慎重に判断してください。やむを得ず渡航する場合は十分な安全対策が必要です。

※「十分注意してください。」地域にはテロの潜在的脅威が存在します。注意事項を守って、テロの被害に遭う危険性を下げましょう。

※「危険情報」が出ていない場所でもテロが発生していますので、テロに対する一般的な注意事項を確認しましょう。

※海外における事件に関する外務省(領事局)の連絡先は次のとおりです。

外務省代表

電話番号:(代表)(03)3580-3311

領事局邦人テロ対策室(海外におけるテロ事件、誘拐、脅迫、ハイジャック人質事件)

電話番号:(直通)(03)5501-8165

領事局海外邦人安全課(上記以外の一般邦人保護、緊急事態の邦人保護等)

電話番号:(直通)(03)5501-8160

海外安全相談センター(渡航情報全般)

電話番号:(直通)(03)5501-8162

海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>